

船舶事故等調査報告書

平成21年2月26日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008神第41号	
事故等名	貨物船大成丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年8月14日09時00分ごろ	
発生場所	今切港長原導流堤灯台から真方位146° 100m (北緯34° 06' 1"、東経134° 36' 6")	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年11月26日 神戸・地方事故調査官が、海難報告書を精査し、船長兼船舶所有者に損傷状況等の資料を入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実	貨物船 大成丸 497トン 船舶番号(IMO 番号) 120853 船舶所有者等 有限会社山高工業	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	負傷者 なし	
損傷	船尾プロペラの4翼先端に曲損等	
事故等の経過	本船は、石材約1,500トンを積載し、船首3.1m、船尾5.1mの喫水をもって、坊勢港を発し、徳島県今切港付近を航行中、平成20年8月14日09時00分ごろ、浅瀬に乗り揚げた。 乗揚の結果、船尾プロペラの4翼先端に曲損等を生じた。 気象・海象は平穏であった。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、今切港付近の水路調査を十分に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が今切港付近を航行中、水路調査を十分に行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	